

白馬村移住希望者アンケートの結果

白馬村役場 総務課

調査方法：インターネット上で実施

調査対象：白馬村へ移住を希望している方

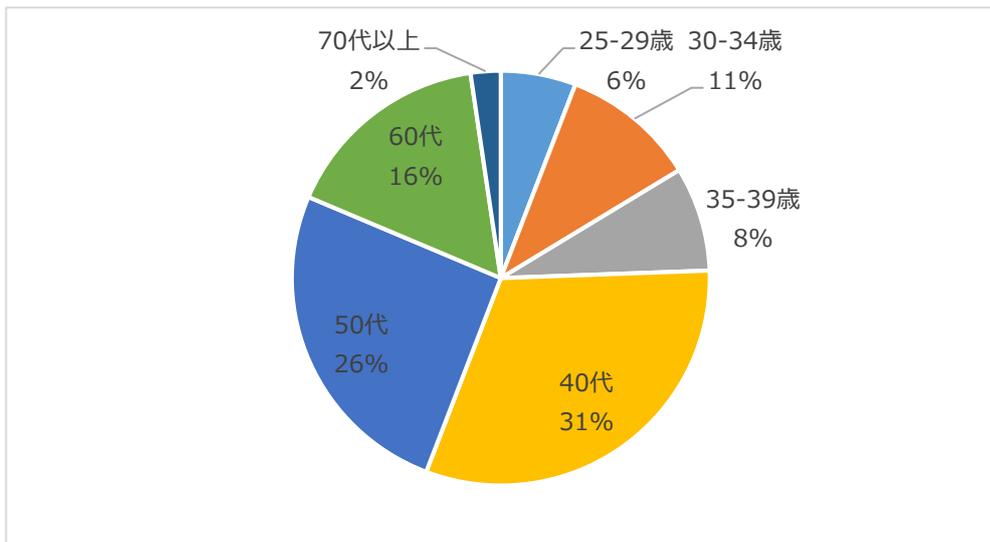
調査期間：令和6年4月19日～8月31日

◆まとめ

- ・ アンケート回答者の傾向として、「白馬に何度も訪れていて、白馬が好きで、今後も長く住んでいきたい」と思っている人が多いことが判明。移住施策を検討するにあたって、白馬村を知ってもらうための PR よりも満足して住んでもらえるための定住サポートが重要であることがわかる。移住前にしっかり生活に関する情報を提供するのはもちろん、移住後もコミュニティへの加入支援を含め、日常のサポートに寄り添うことが必要と思われる。
- ・ 移住にあたって重要な要素であると言われている「居・職・住」に関する懸念事項を感じている人が多いことが判明（居場所・職業・住居）。ただし、仕事に関しては現職を継続する選択肢を持っている人が約半数弱いることが判明したため、優先順位としては、居・住＞職と考えることができる。
- ・ 今後の住居について、賃貸と購入を希望している人がそれぞれ約半数存在することが判明。

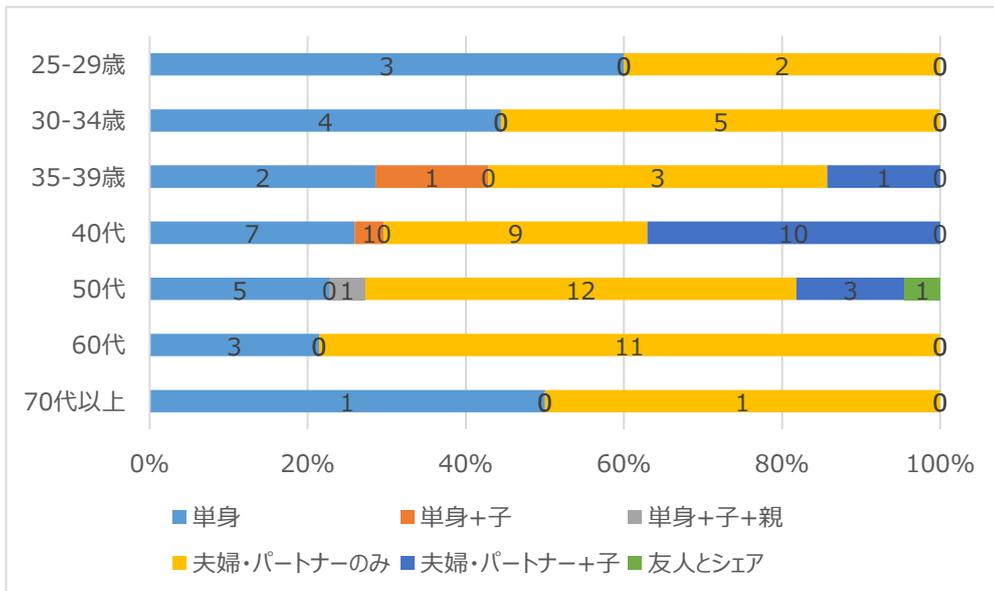
◆回答者属性（回答者数：86）

【回答者年齢層比】



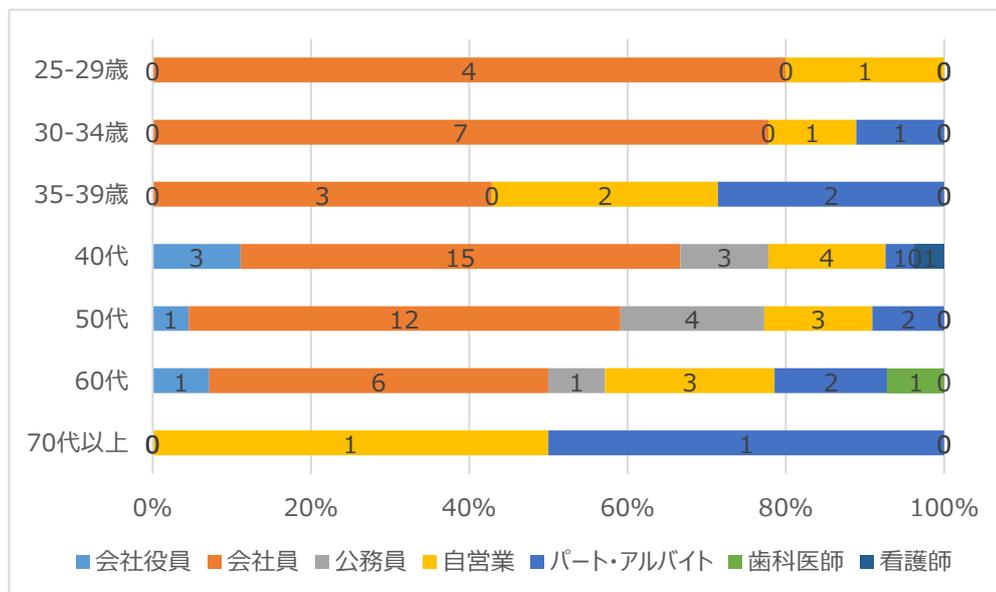
- 子育て・若年世帯にあたる【25-29歳】～【40代】は約半数（48人、51%）であった

【年齢層別共に移住予定の家族構成】

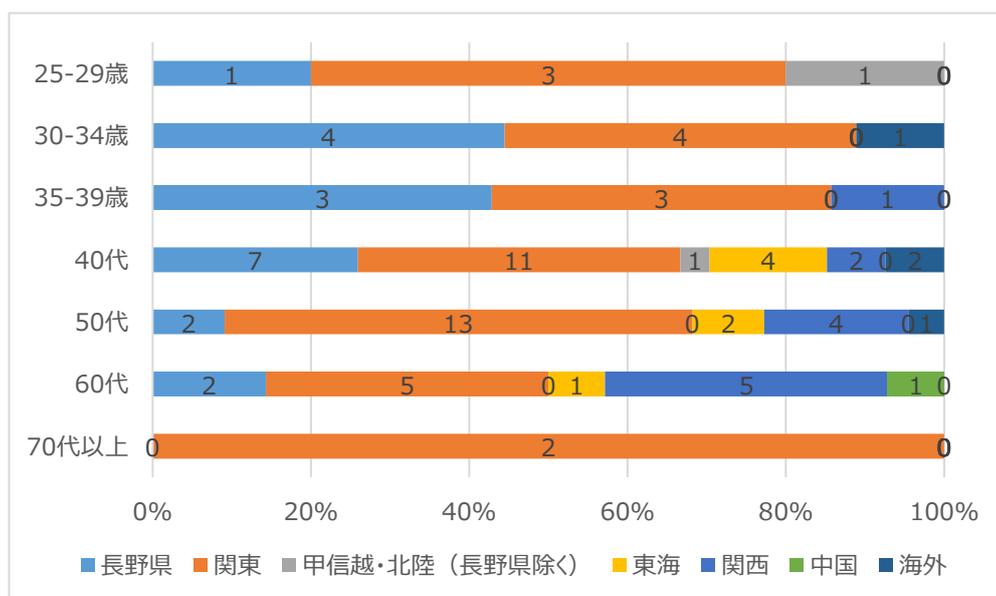


- 【25-29歳】～【40歳】においては、【単身】と【夫婦・パートナーのみ】の世帯の比率が約 1:1 で推移しているが、【50代】【60代】においては【夫婦・パートナーのみ】の世帯の比率が高くなっている
- 子どもを含めた世帯での移住を検討している年齢層は【35-39歳】～【50代】となっているが、中でも【40代】が圧倒的に多い。第1子出生時の母の平均年齢が 30.9 歳であることをふまえると（厚生労働省発表、令和 3 年）、子供の年齢は小中学生が多いと予想できる

【年齢層別現在の職業】

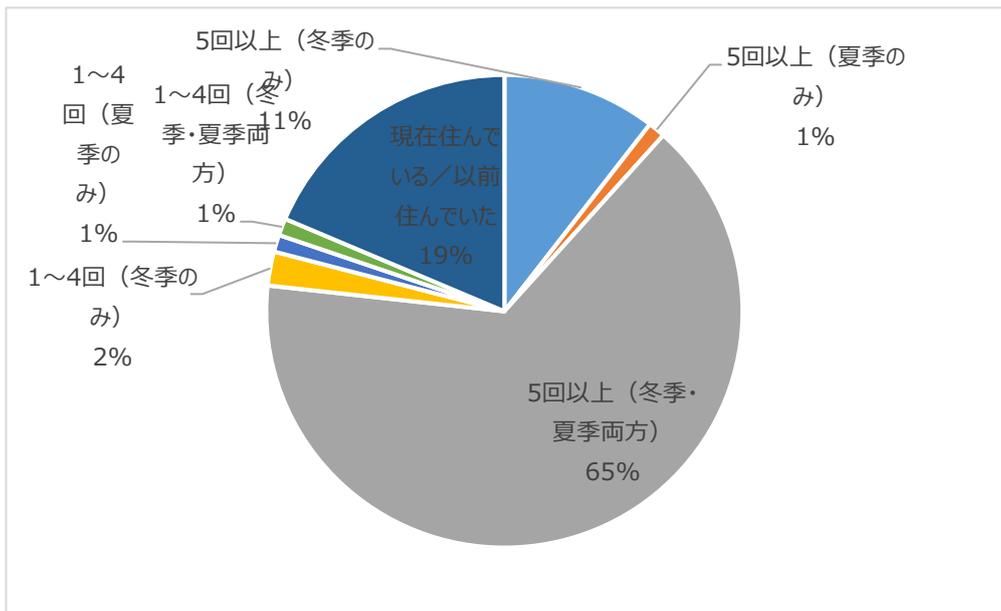


【年齢層別現在の居住地】



- 全年齢層にて、長野県（19人、22%）と関東（41人、48%）の割合が多い。また、長野県と回答した19人のうち、12人は既に現在白馬村に住んでいると回答。現在シェアハウス等で試しに住んでいるが、定住のイメージが見えてきたので本格移住を検討しているとの回答が一定数あり
- 【40代】以降になると、東海や関西の方の比率が高くなり、【60代】においては約半数を占める

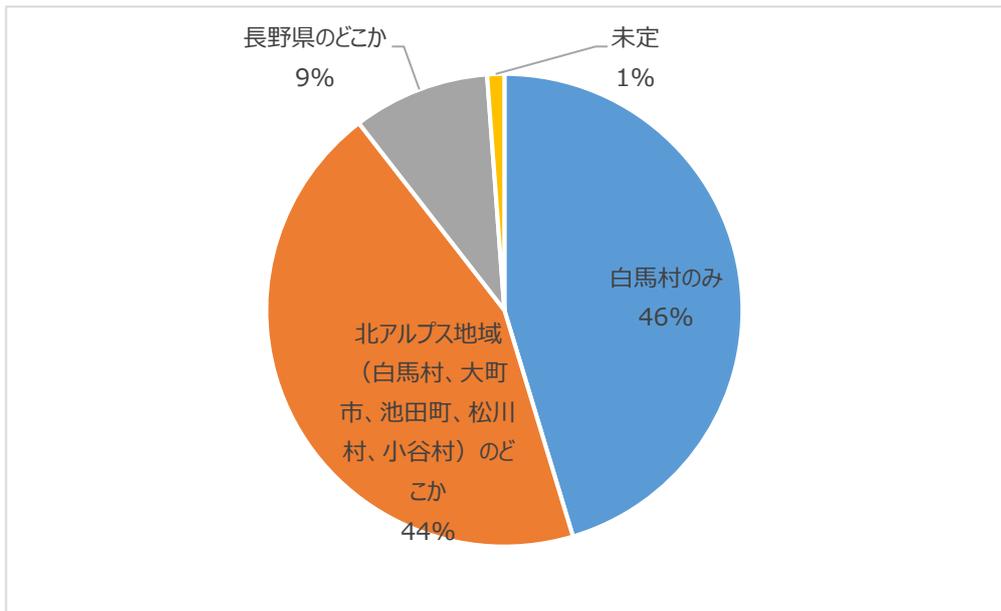
【白馬村に何度訪れたことがあるか】



- 白馬村を既によく知っているであろう【現在住んでいる／以前住んでいた】【5回以上（冬季・夏季両方）】と回答した人は全体の8割を超えており、【5回以上（冬季のみ）】【5回以上（夏季のみ）】を含めると95%を占める。移住の失敗理由として多く挙げられる「想像していたのと違った」という心配事項も、さほど重要視する必要はないと思われる

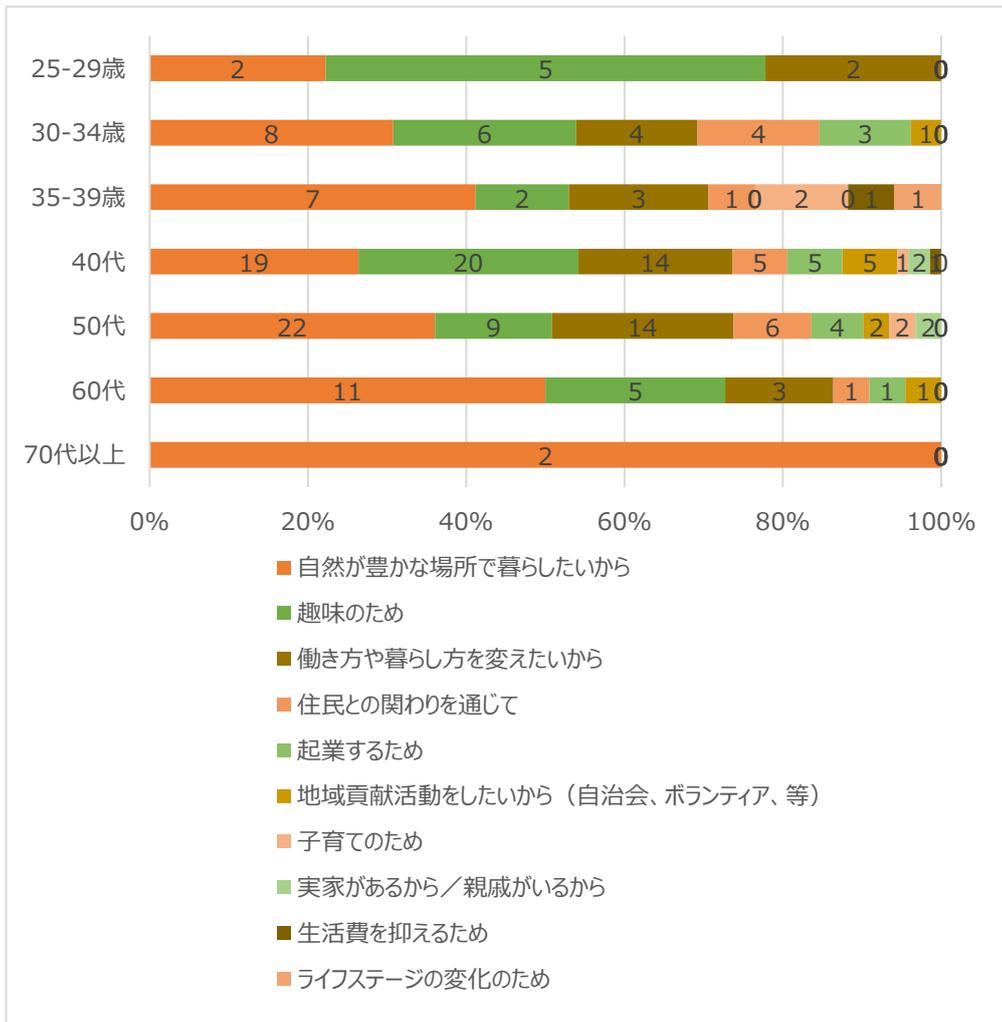
◆移住全般に関する意向（回答者数：86）

【検討している移住先】



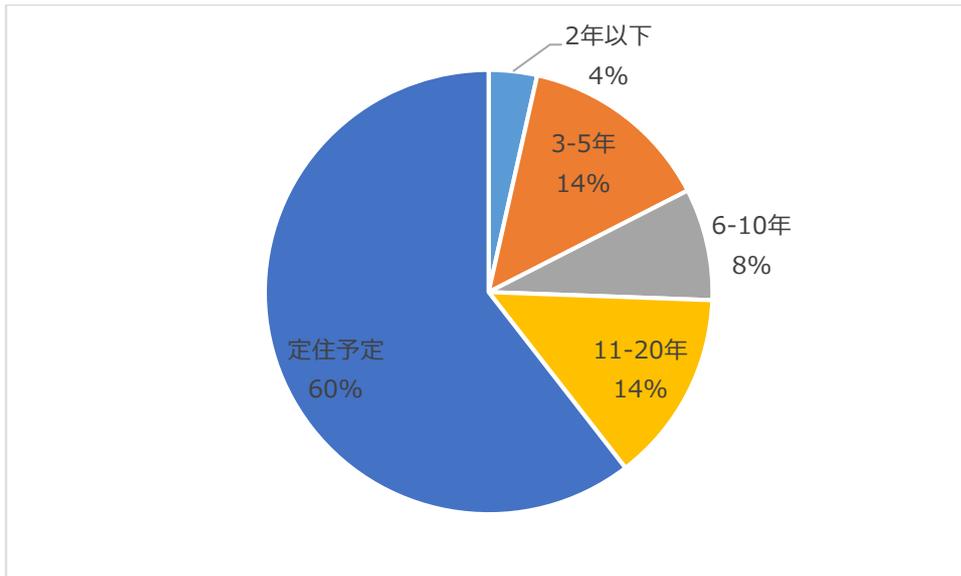
- ・ 村公式ホームページなど白馬に特化した媒体にてアンケートの案内をした、且つ、白馬への訪問回数も多い割に、移住の検討範囲を白馬村に限定していない人が多い（55%）ことがわかる

【移住を検討することになったきっかけ】（複数回答可、N = 209）



- ・ 回答者全員のうち、83%の人が【自然が豊かな場所で暮らしたいから】と回答
- ・ 【25-29歳】【30-34歳】【40代】において、【趣味のため】と回答した人の割合が高い（回答者数の約8割）。ただの地方への移住を目的としているのではなく、白馬が提供できるアクティビティに魅力を感じている人が多いことがうかがえる
- ・ 【30-34歳】～【50代】において、【住民との関わりを通じて】と回答した人が一定数いることがわかる。白馬への訪問するにあたって、地域住民との関わりを持って、人にも魅力を感じていることがわかる

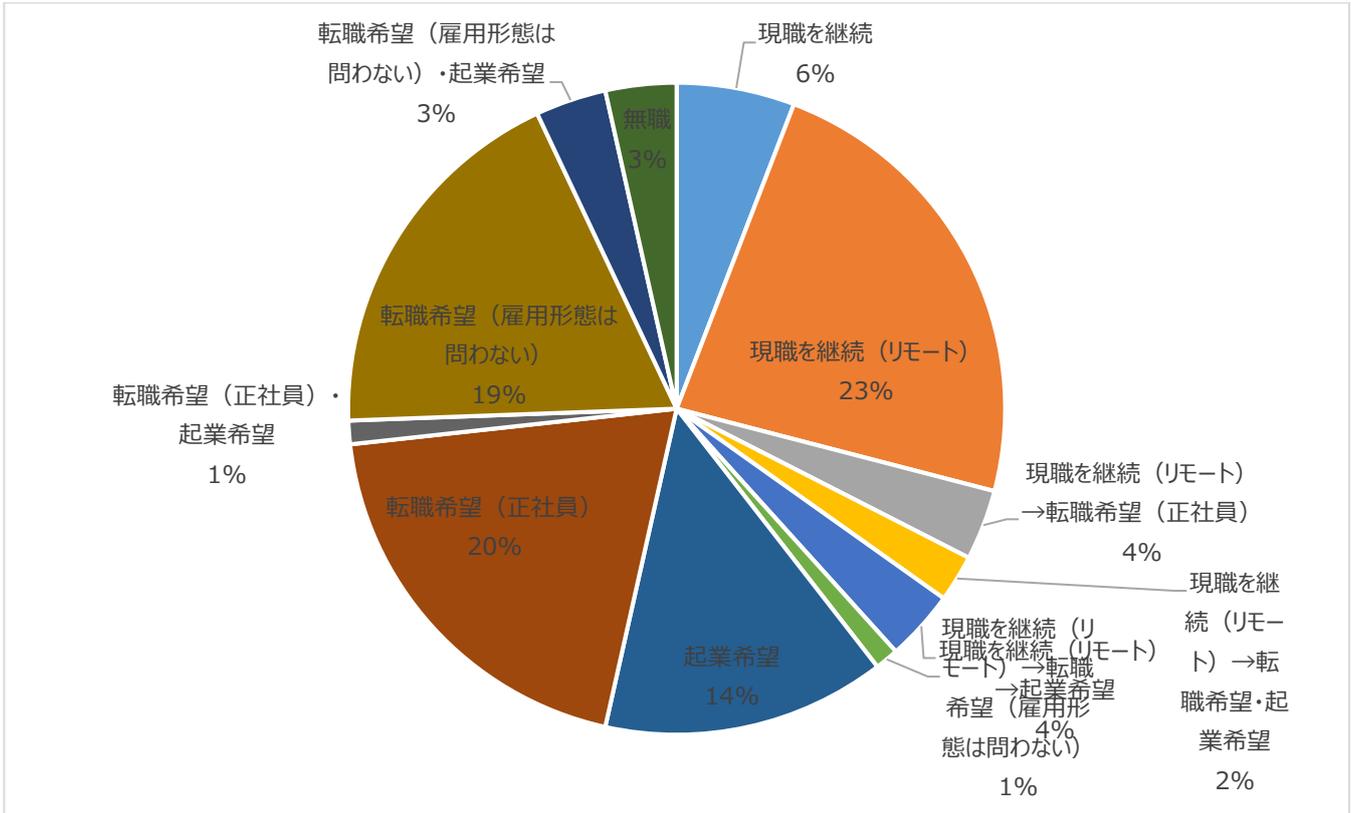
【居住予定年数】



- ・ 【定住予定】と回答した人が 60%と多い。お試し移住→定住という段階的な移住ではなく、最初から長く住むことを想定している人が多いことがわかる

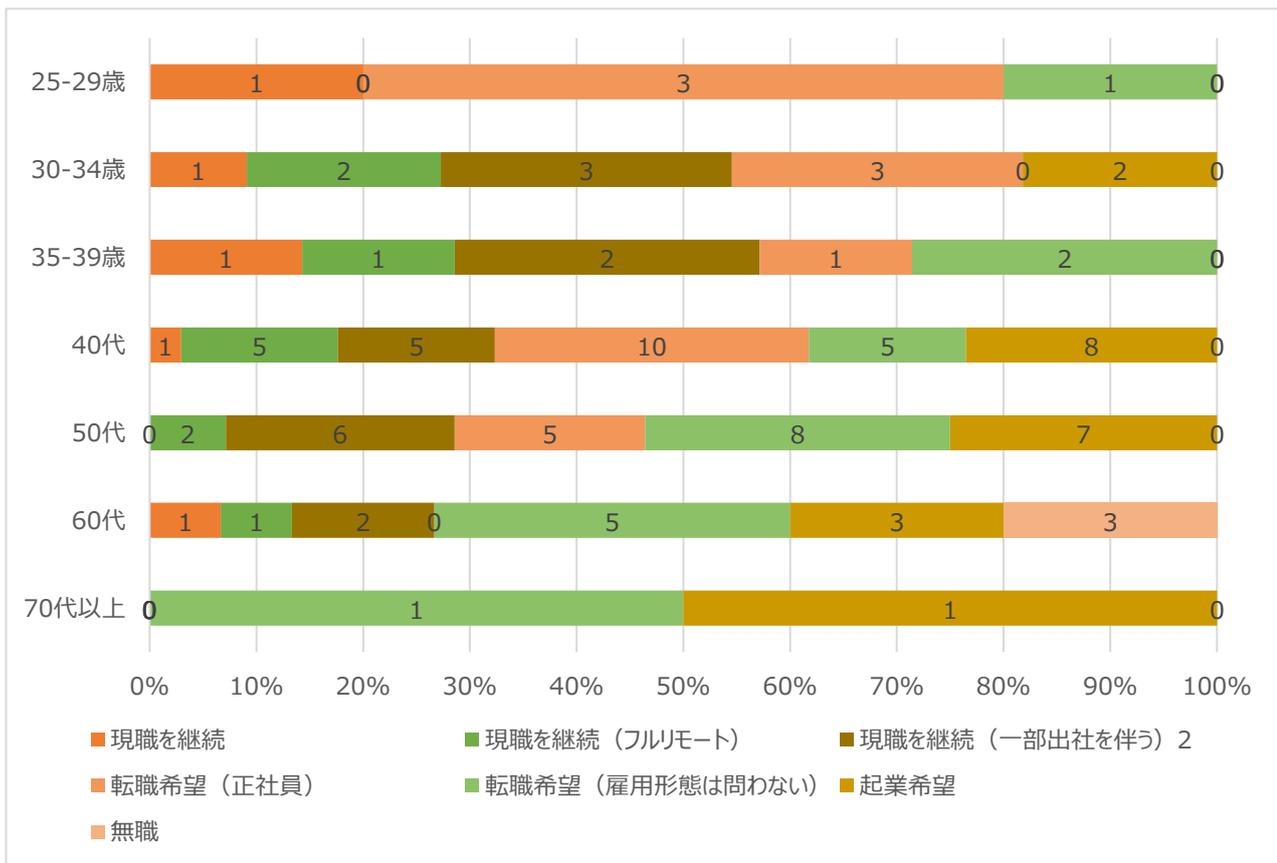
◆職に関する意向（回答者数：86）

【移住後の希望職】



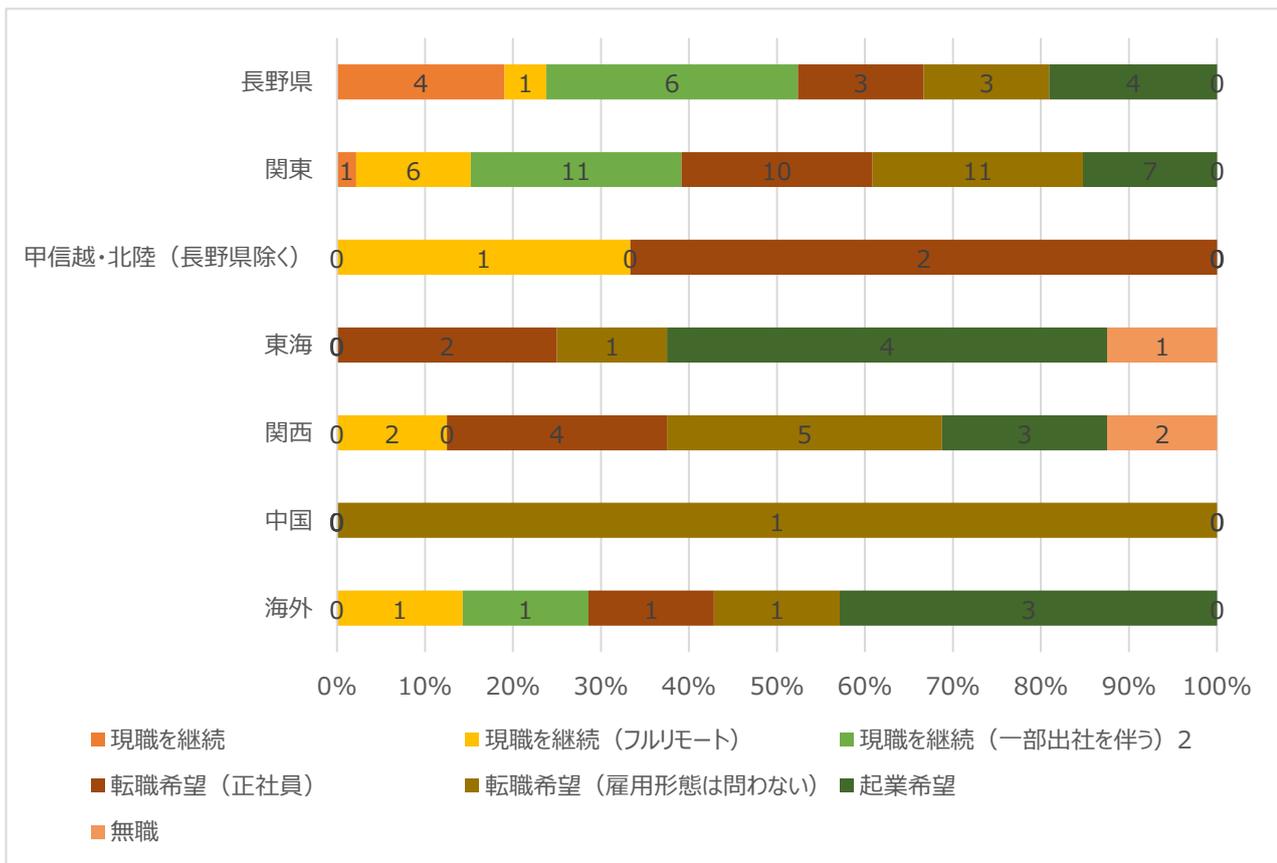
- 職については、様々な意向が見られたが、現職を継続+無職予定の方が43%と、移住するタイミングにおける職探しが必要な人が半数弱存在することがわかる。ただし、移住するタイミングにおいては不要であっても将来的に職探し・起業支援が必要は人の割合は67%となるため、優先度は下がるものの、将来的には職に関する施策を検討する必要がある

【年齢層別移住後の希望職】（複数回答可、N = 102）



- 【25-29 歳】～【40 代】は現職を継続、もしくは正社員での転職といった安定収入を望んでいるのに対し、【50 代】以降となると、起業希望、もしくは雇用形態を問わないかたちでの転職の意向の割合が増える。若い世代では、生きていくための収入確保手段としての職選びが必要であるのに対し、50 代以降は生き方としての職選びと意味合いが変わっているのではないかと推測できる

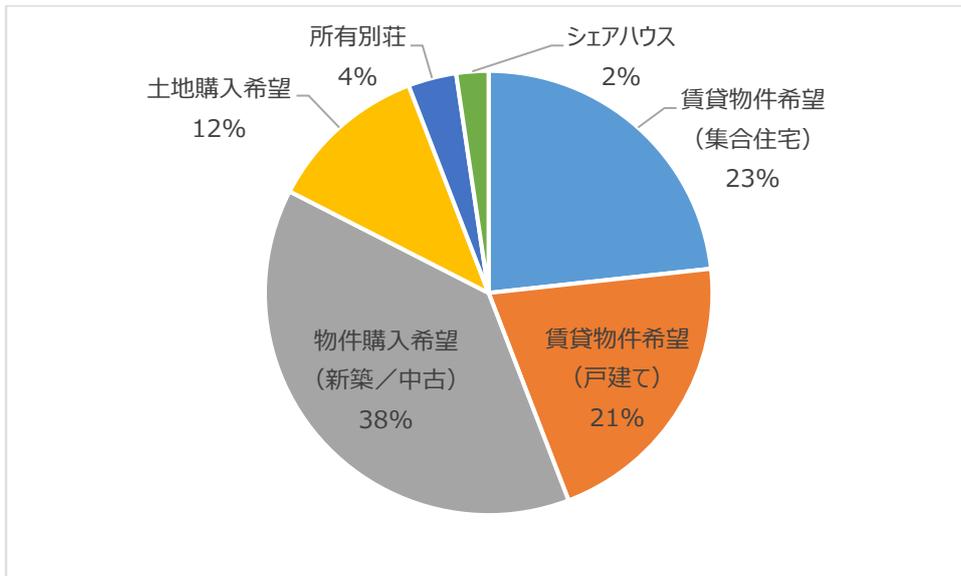
【居住地別移住後の希望職】（複数回答可、N = 102）



- 現職を継続する意向を持っている人が【長野県】と【関東】に多いことが分かる。出張含む出社が必要となる場合、【長野県】と【関東】以外は移動のハードルが高いと感じられている、もしくは、リモートワークができる起業が関東に集中していると考えられる

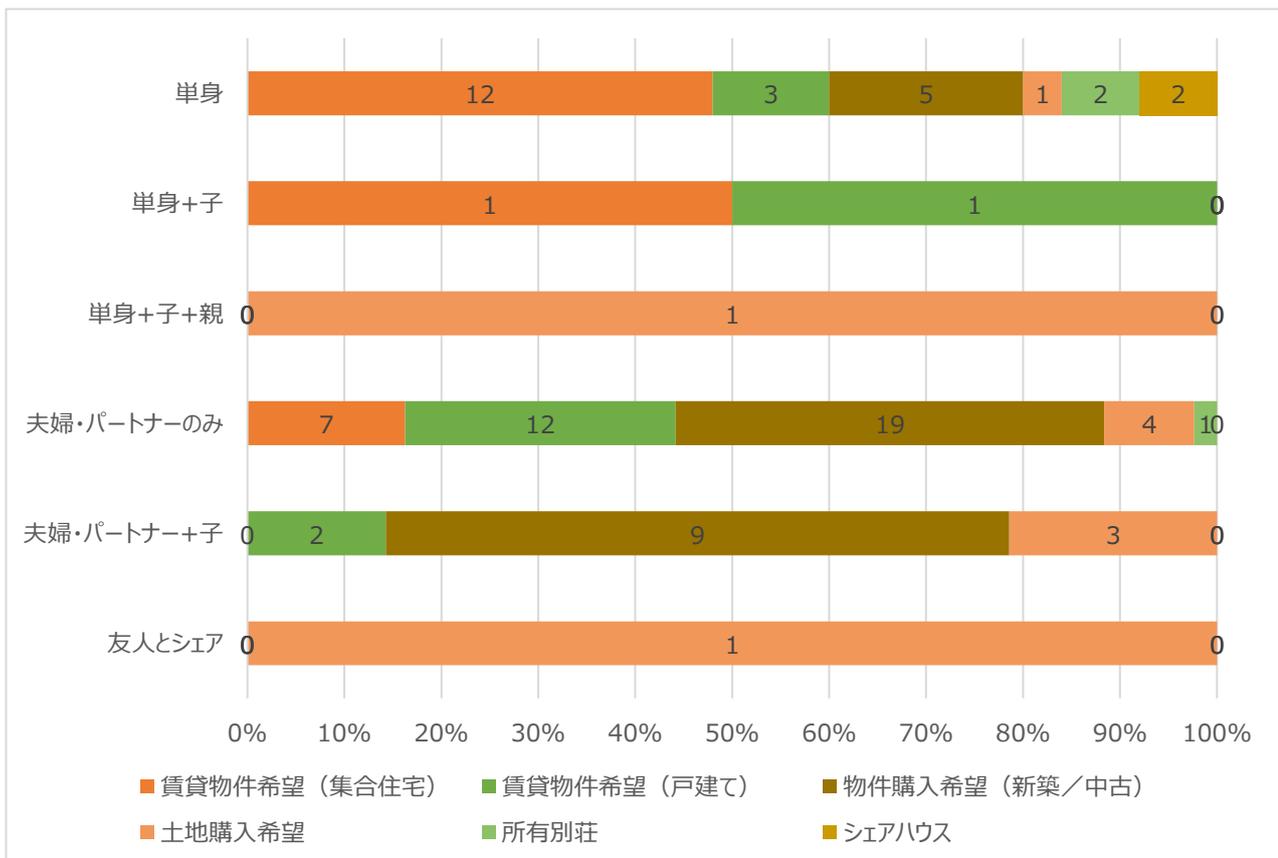
◆住居に関する意向（回答者数：86）

【住居の希望】



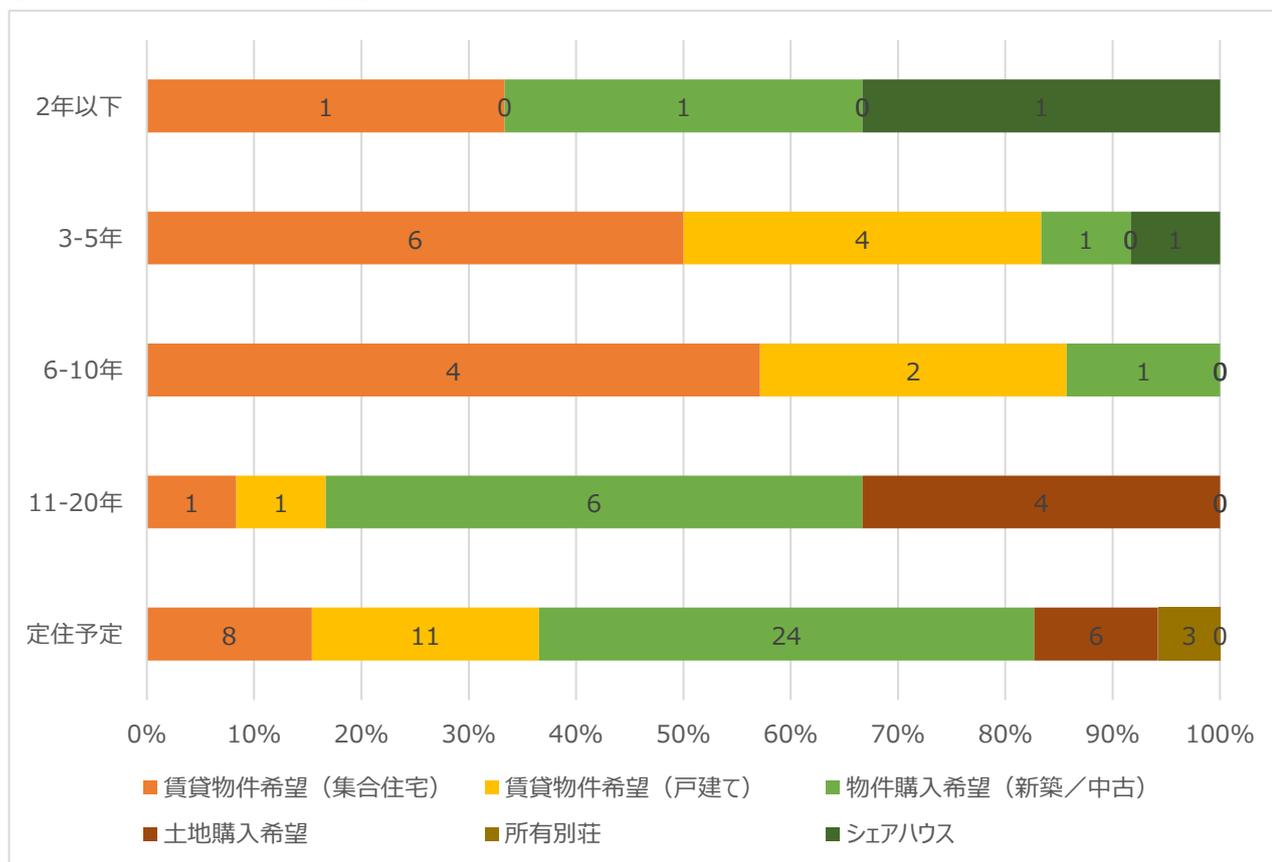
- ・ 賃貸（集合住宅&戸建て）を希望する人が44%、購入（物件&土地）が50%となっている

【共に移住予定の家族構成別住居の希望】



- ・ 集合住宅の賃貸物件を希望しているのは【単身】に多く、【夫婦・パートナーのみ】にも一定数存在することがわかる。集合住宅の賃貸物件を希望している20人の内訳を見ると、必ずしも若い層のみが希望しているわけではないことがわかる（25-29歳：2人、30-34歳：3人、35-39歳：2人、40代：6人、50代：3人、60代：3人、70代以上：1人）。

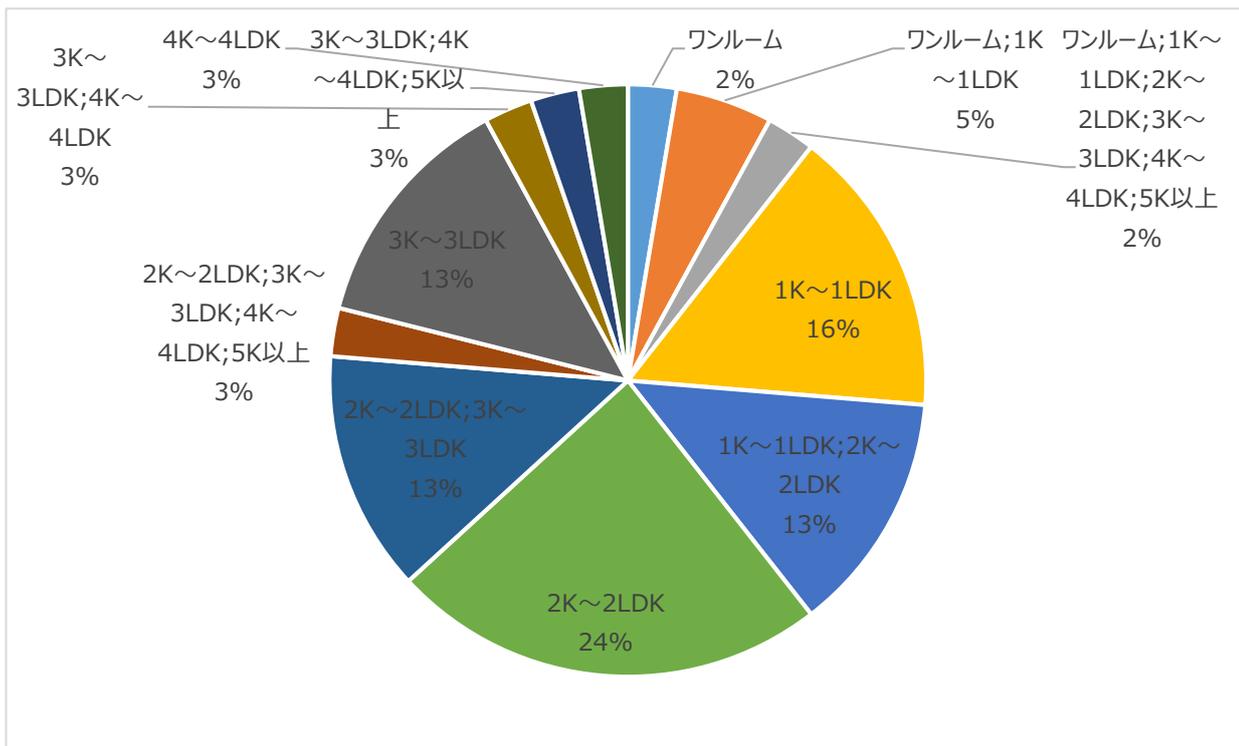
【居住予定年数別住居の希望】



- 居住予定年数別に見た場合、購入（物件&土地）を希望している人は【11-20年】【定住予定】に偏っていることがわかるが、【定住予定】であっても賃貸物件を希望する割合も一定数（37%）存在することがわかる

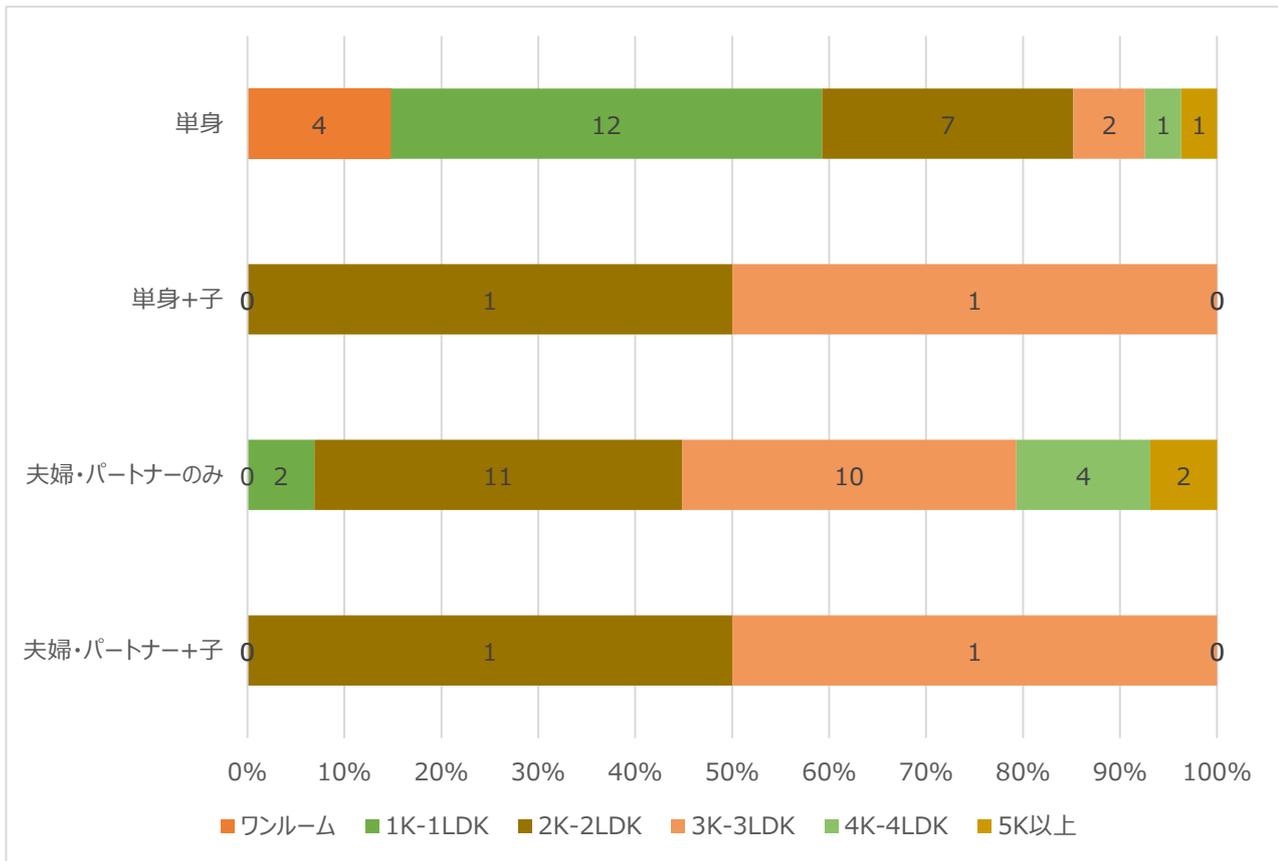
◆賃貸に関する意向（回答者数：38）

【希望間取り】



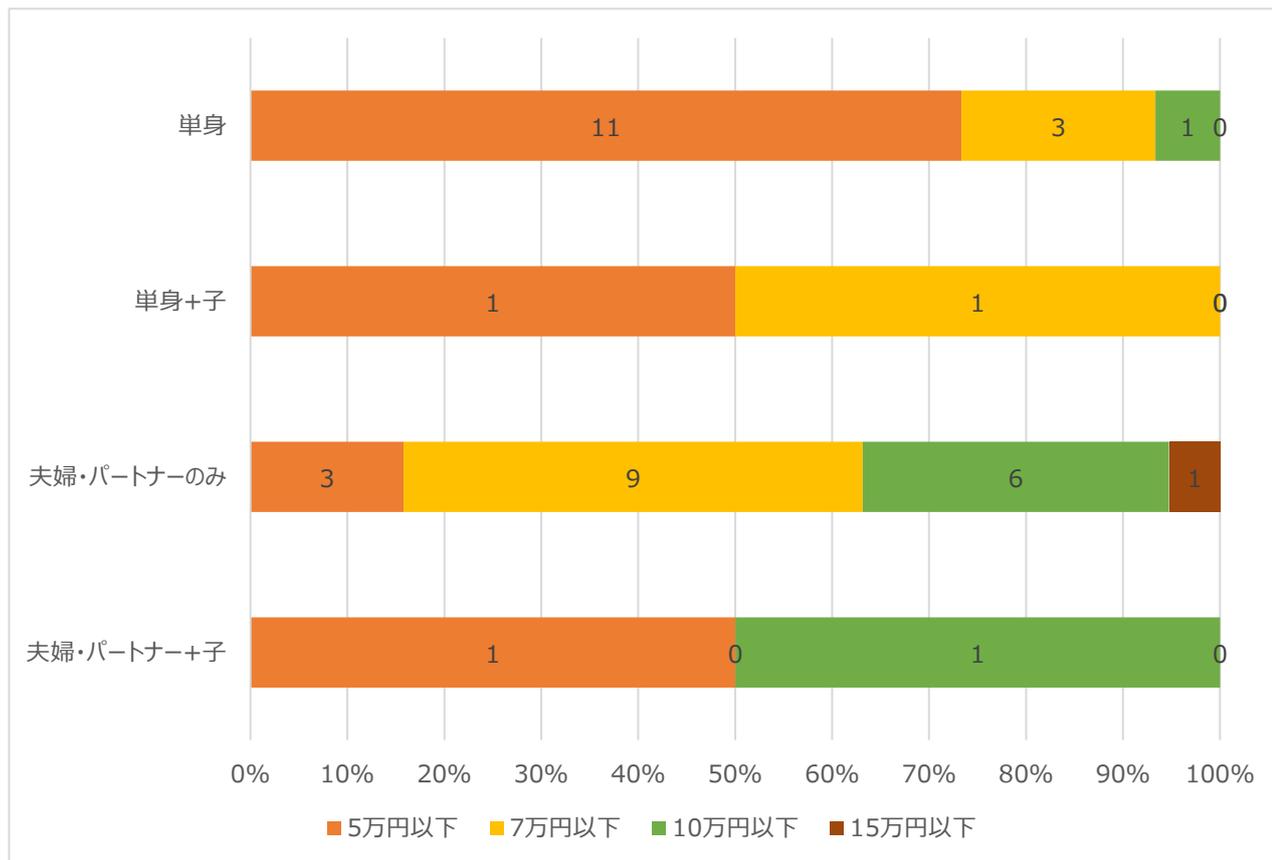
- ・ 【2K~2LDK】を望む人が 55%と一番多く、その次に【1K~1LDK】【3K~3LDK】の 37%が続く。なお、集合住宅で希望が多かったのは【1K~1LDK】、戸建で希望が多かったのは【3K~3LDK】となる。

【共に移住予定の家族構成別希望間取り】（複数回答可、N = 60）



- 共に移住予定の家族構成別に見ると、【ワンルーム】【1K-1LDK】を望んでいるのは単身世帯に多く、他では【2K-2LDK】以上の間取りを希望していることがわかる

【共に移住予定の家族構成別希望家賃】



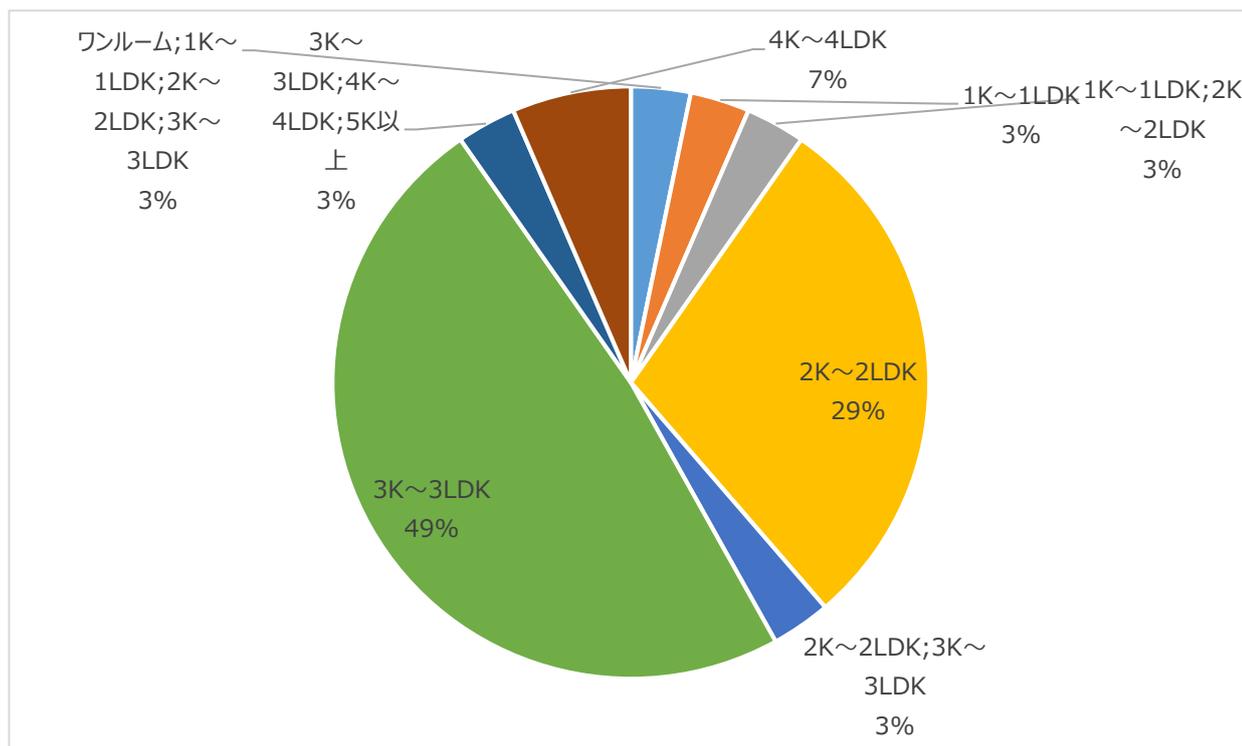
- ・ 【ワンルーム】【1K-1LDK】を望んでいる人が多い単身世帯では、【5万円以下】【7万円以下】の家賃を希望している人が9割を超えているのに対し、【2LDK】以上の間取りを望んでいる人が多い夫婦・パートナーのみの世帯では10～15万円の家賃を希望している人が約3割、7～10万円の家賃を希望している人をあわせると約8割となっている。

【希望間取り別希望家賃】

希望の間取り	5万円以下	7万円以下	10万円以下	15万円以下
ワンルーム	1	0	0	0
ワンルーム;1K~1LDK	2	0	0	0
ワンルーム;1K~1LDK;2K~2LDK;3K~3LDK;4K~4LDK;5K以上	1	0	0	0
1K~1LDK	4	1	0	0
1K~1LDK;2K~2LDK	1	2	0	1
2K~2LDK	3	2	3	0
2K~2LDK;3K~3LDK	1	2	1	0
2K~2LDK;3K~3LDK;4K~4LDK;5K以上	0	1	0	0
3K~3LDK	1	2	2	0
3K~3LDK;4K~4LDK	0	1	0	0
3K~3LDK;4K~4LDK;5K以上	0	0	1	0
4K~4LDK	0	0	1	0

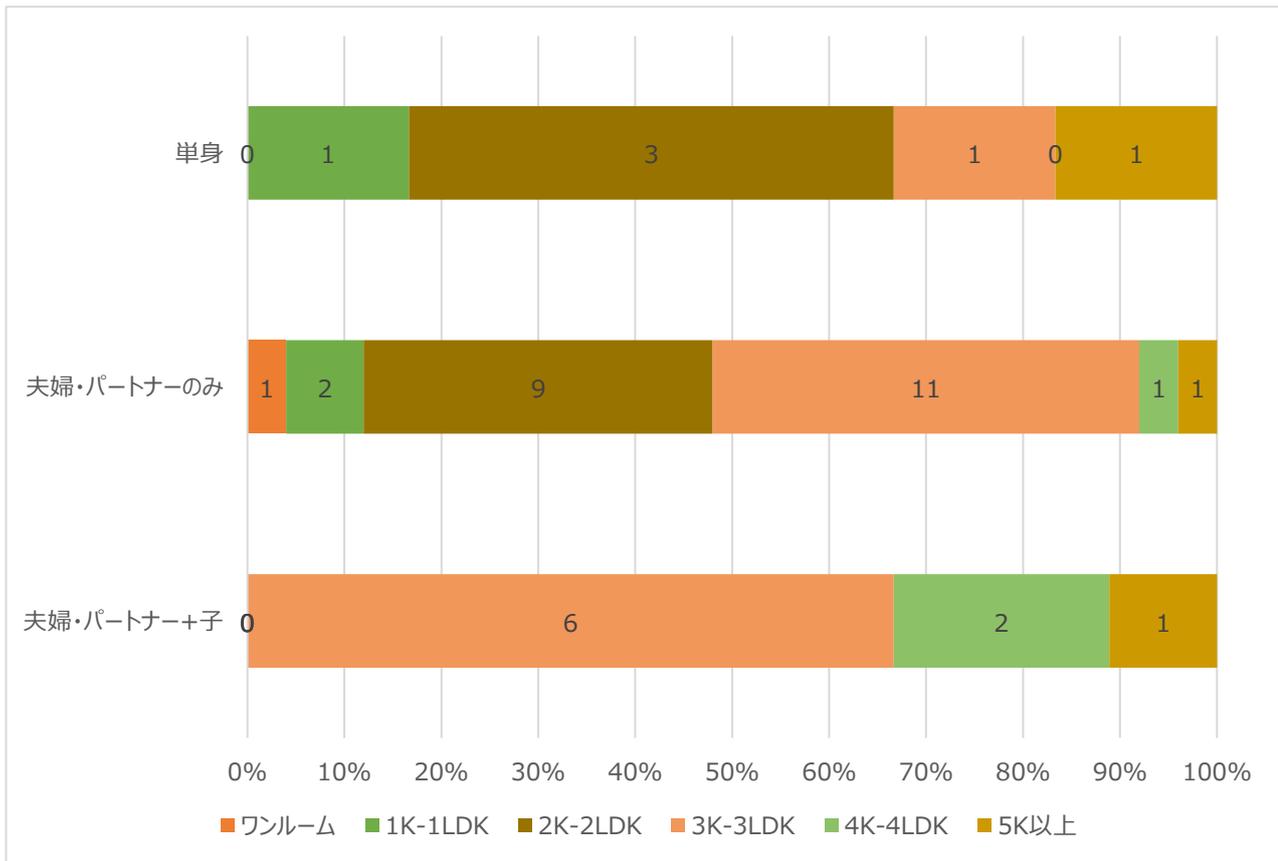
◆物件購入に関する意向（回答者数：33）

【希望間取り】



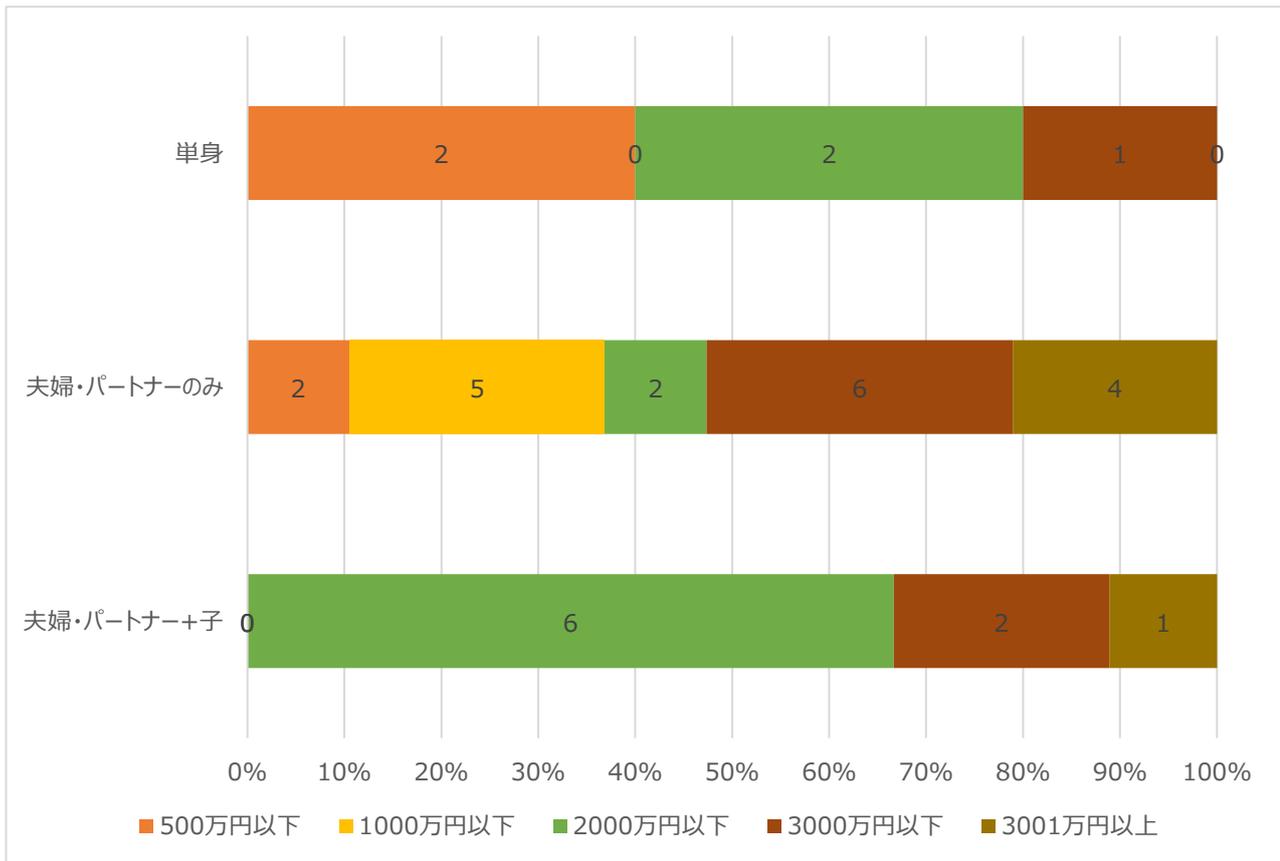
- ・ 【3K~3LDK】を望む人が 55%と圧倒的に多く、次に【2K~2LDK】が 36%、【1K~1LDK】【4K~4LDK】【5K 以上】がそれぞれ 9%となっている。比較的コンパクトな住居を望む人が多いことがうかがえる。

【共に移住予定の家族構成別希望間取り】（複数回答可、N = 40）



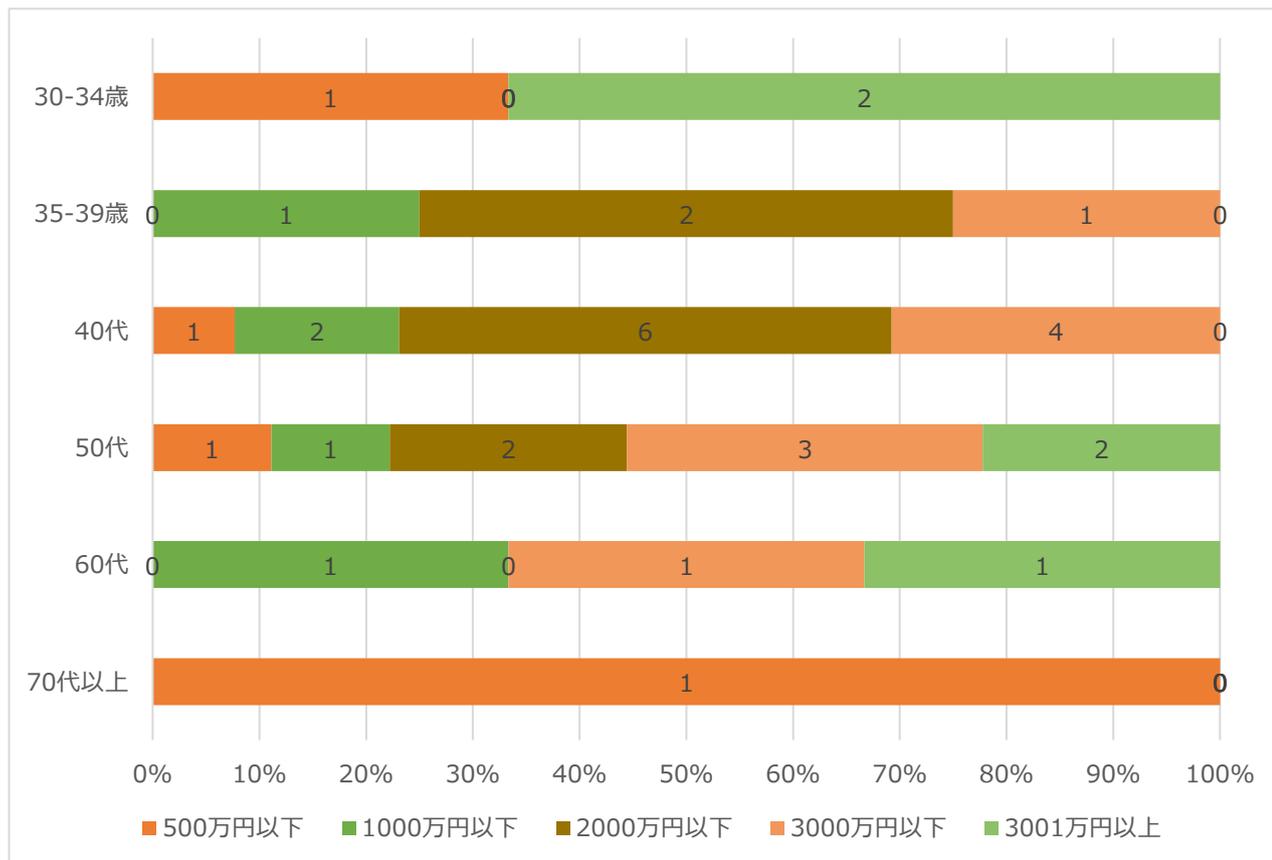
- 夫婦・パートナー+子世帯は、【3K-3LDK】以上の間取りを望んでいることがわかり、単身、及び、夫婦・パートナーのみの世帯では【2K-2LDK】以下の間取りを希望している割合が多いことがわかる。

【共に移住予定の家族構成別希望購入価格】



- 【3K-3LDK】以上の間取りを希望している層が多い夫婦・パートナー+子世帯が 1001 万以上の購入価格を希望しているのに対して、単身・夫婦・パートナーのみ世帯では 1000 万円以下の購入価格を希望している層が一定数いることがわかる。ただし、2001 万以上の購入価格を希望する層を見ると、夫婦・パートナー+子世帯よりも、夫婦・パートナーのみ世帯の比率のほうが多く、必ずしも世帯構成や希望間取りと購入希望額に相関性があるようではないことがわかる。

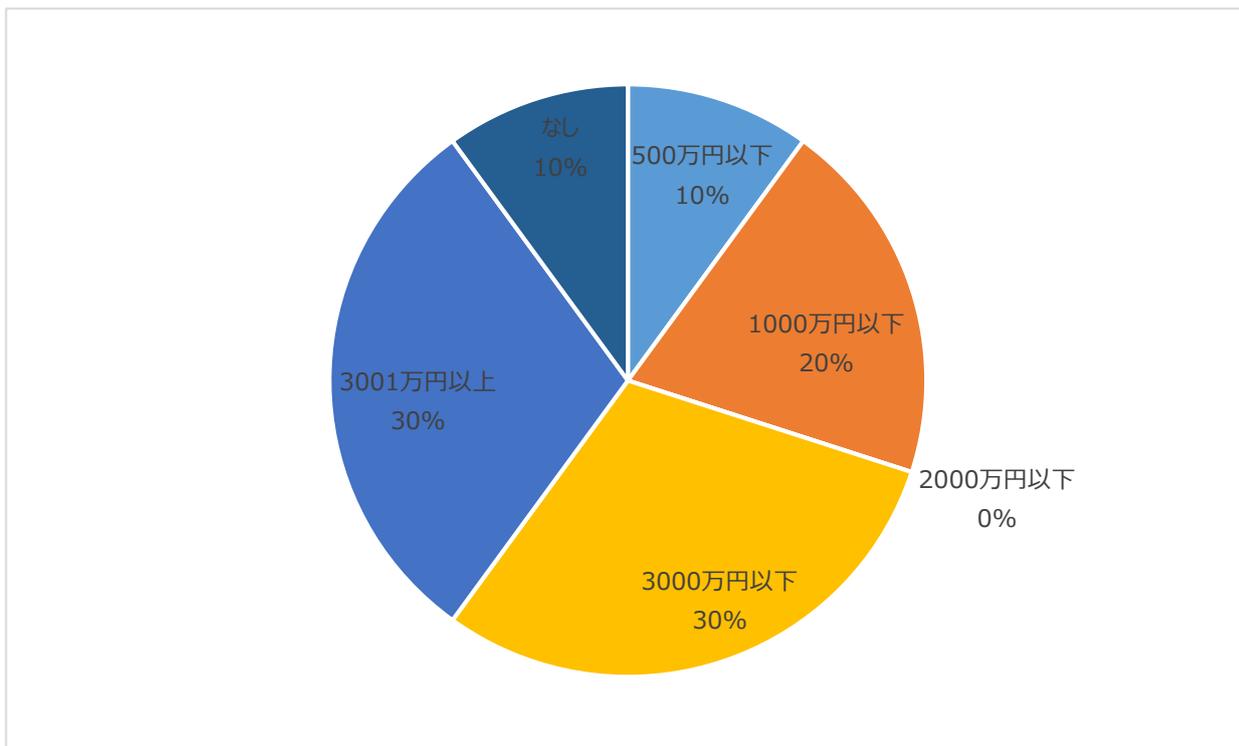
【年齢層別希望購入価格】



- 年齢層と希望家賃においては相関性が見られ、【50代】までは年齢が上がるほど希望家賃もあがっていることがわかる。構成世帯や間取りよりも、その人の保有資産のほうに相関があることがわかる。なお、移住後の希望職業との相関性も見られなかった。
- アンケートでは「購入希望価格」として質問をしたものの、中古物件の場合、購入価格とは別にリフォーム費用等も発生する可能性が高いため、リフォーム費用等含めての購入希望価格なのか否かは考慮する必要がある。

◆土地購入に関する意向（回答者数：10）

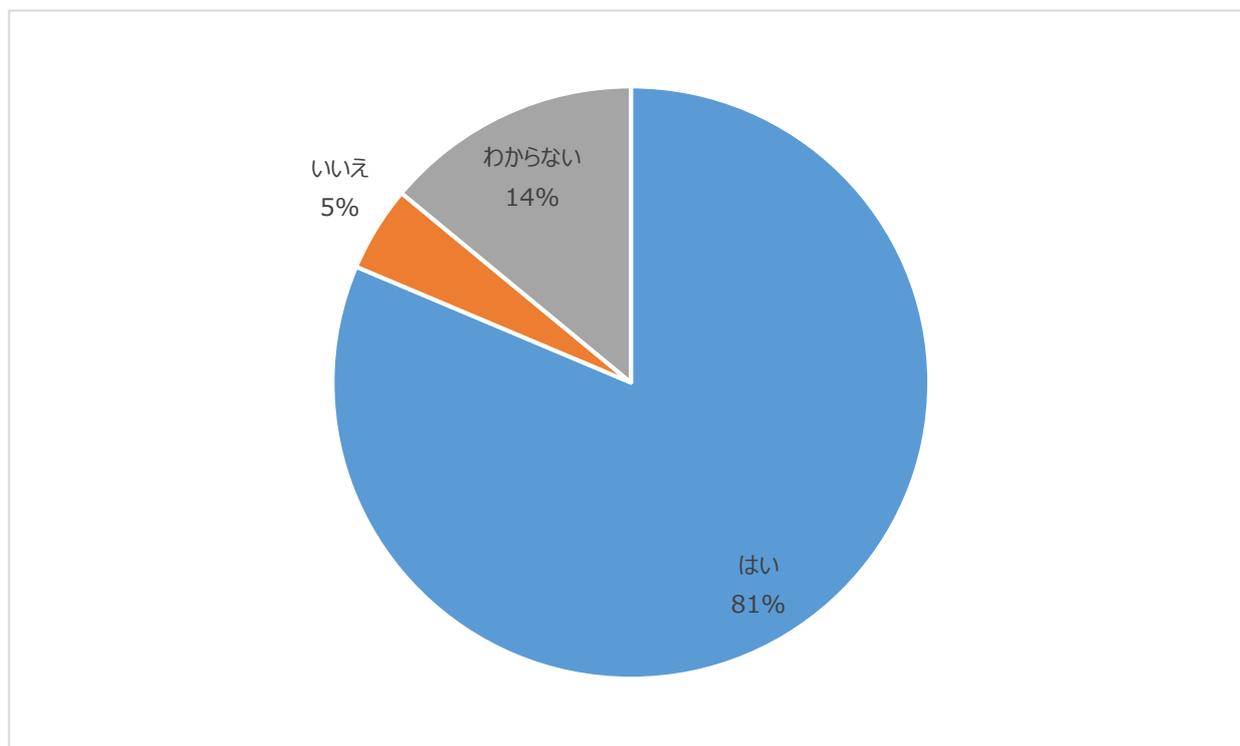
【土地購入の希望価格】



- 土地の購入を希望する人が7人と少なかったものの、約3割は3001万円以上を希望していることがわかる。立地等の他条件が合致するかどうか重要だと思うものの、古い家を更地にして売却する方法も可能性としては十分有りうると思われる。

◆空き家バンクに関する意向（回答者数：86）

【空き家バンク利用意向】



- ・ 8割を超える人が空き家バンクの利用意向があると回答。

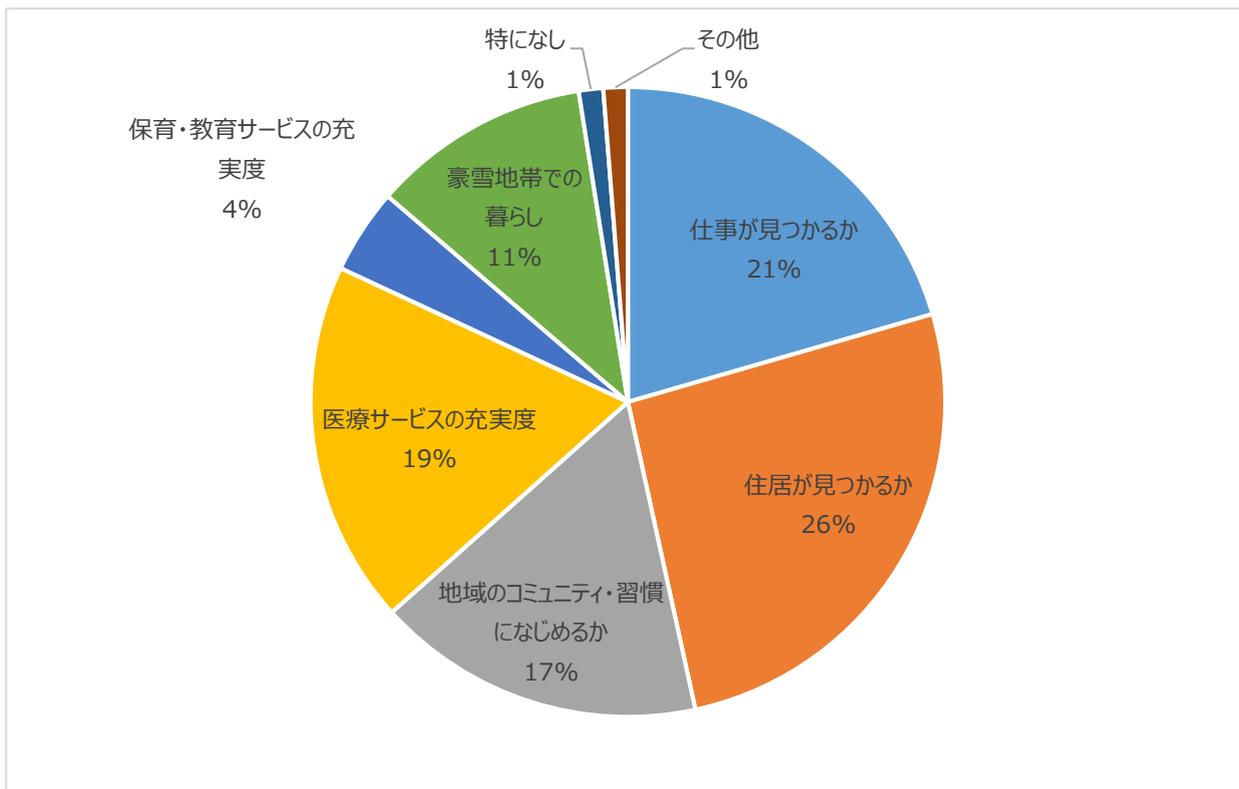
【空き家バンク掲載宅検討時の優先条件】（空き家バンク利用意向ありの方のみ、N=82）

条件	第1優先条件	第2優先条件	第3優先条件	第1~3優先条件に選んだ人の割合
購入／賃貸価格	27	27	12	80%
立地	29	21	15	79%
修繕要否	11	13	13	45%
間取り	5	8	17	37%
空き家バンクの利用条件	5	1	10	20%
売り手・貸し手との相性	4	6	4	17%
築年数	1	6	11	22%

- ・ 【購入／賃貸価格】【立地】の2つの条件を重視している人が約8割と圧倒的に多く、その次に【修繕要否】【間取り】が多かった。
- ・ 【立地】に関しては、利便性、眺望、安全性、住宅街／別荘地、人口密集地／過疎地、等求めるものは人によって異なるため、一概にどの地区が人気となるかはわからないが、重要視されていることはわかる。
- ・ 【購入／賃貸価格】を最重視している人が多い一方で、【修繕要否】【築年数】はそこまで多くなかった。物件によってはリフォームや改修が必要なものもあると思われるので、価格を決める際に【修繕要否】【築年数】を考慮する必要がある。一方で、【修繕要否】【築年数】の条件を単体で重視しているという回答は比較的多くなかったため、古い家だから嫌がられるといった反応はないものと想像できる。

◆白馬村に関する意見（回答者数：86）

【移住にあたっての懸念事項】（複数回答可、N=161）



- ・ 移住にあたって重要な要素であると言われている「居・職・住」に関する懸念事項（地域のコミュニティ・習慣になじめるか、仕事が見つかるか、住居が見つかるか、）が全体の 64%を占めており、それに続いて【医療サービスの充実度】の回答が多かった。空き家バンク（住）を開始すると同時に、地域のコミュニティ・習慣になじめるか（居）や仕事が見つかるか（職）に関するサポートを実施する必要がある。

【その他コメント】（3名以上が同様の内容を記載した場合のみ公表、（）内は記載人数）

分類	行政に期待すること	地域に期待する発展	その他コメント
住居	<ul style="list-style-type: none"> 未活用住宅の活用（6） 物件の選択肢の少なさに対する対応（4） 		
職	<ul style="list-style-type: none"> 職業紹介（7） 		
コミュニティ・まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 地元住民と移住者の繋がりへの支援（5） 	<ul style="list-style-type: none"> インバウンドに頼りすぎない発展（6） インバウンド、国内、地元の協調（4） 地元の人に還元される発展（3） 住みやすい村（3） 	<ul style="list-style-type: none">
移住定住支援	<ul style="list-style-type: none"> 移住サポート（5） 	<ul style="list-style-type: none"> 便利で住みやすい村（4） 	
医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者向けサービスの拡充（3） 	<ul style="list-style-type: none"> 医療サービスの充実（4） 	
補助金	<ul style="list-style-type: none"> 移住補助金の拡充（5） 		<ul style="list-style-type: none"> 外食や観光施設における村民価格の設定（3）
観光	<ul style="list-style-type: none"> インバウンドに頼らない魅力維持（3） 	<ul style="list-style-type: none"> グリーンシーズンの繁栄（3） 白馬らしさのあるリゾート（3） 	
環境		<ul style="list-style-type: none"> 景観保護（5） 自然と調和の取れた開発（4） 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関の拡充（3） 		